

幌呂小学校活用説明会 会場の声～来場者からのメッセージ

2025.7.14(月)

意見・質問

- ・事務的なことを実際に行える人の確保は可能？
- ・鶴居市街の子どもたちが子どもだけで幌呂まで行ける交通手段があれば…
- ・長期間の使用が可能なのか
- ・共同運用に賛成です。住民と民間団体に行政も加わった共同運用は無理でしょうか
- ・連合会に対して一番期待することは？
- ・グラウンドがあることが他にはない魅力だと思うが、どのように活かしていくか
- ・入ったことが無いので調理室や音楽室がどんな感じかわからないです。物品管理が課題
- ・運営費用はどうするかが気になります。運営人材をどうするか。
- ・共同運営は理想だと感じるが、ソレゾレが軸となって運営することは考えていないのか
- ・幌呂小学校の活動を総合的にコーディネートできる組織が必要ではないかと思いますが、どのような体制を組織するか。
- ・幌呂地区にとっては小中学校の廃校は非常にさびしい思いがあることを確認してくれたので、再利用への取り組みは応援したい。
- ・サロンのな、いつでもふらっと立ち寄れる場所として開放するのか？
- ・介護資格を持つ人の確保はどのように行う予定でしょうか。
- ・幌小活用のためには、初期はソレゾレさん中心に運営することとなると思いますが、将来的には専門の団体に運営を移行できればと思う。
- ・もしカフェが運営できたとして、カフェでの利益は施設の運営に使われるのか。
- ・施設維持のための負担（光熱費など）は行政の助けが必要だと思うので、村民が理解してもらうよう交流・意見交換の場をより積極的に！
- ・大人が集まれると思う工夫・アイデアが知りたいです。
- ・不登校傾向の子はその日の朝、今からどこかへ行きたいけどどこへ…と思うことがある。受け入れてくれたら嬉しい。

活動のアイデア

- ・文化施設・教室の設置。福祉以外にも、幌呂の歴史、自然を知る機会→幌呂博物館的な感じ。
- ・ファミサポ利用の場所。こども・支援員が来て使用
- ・外のグラウンドや裏の林などを活用するアイデアがあると良い。遊歩道や散策道ハイキングなど
- ・音楽関係のイベント、読み聞かせ・紙芝居など
- ・学校からスムーズにソレゾレさんに相談できたらなあ
- ・音楽室利用で音楽を教える、美術室で絵画を教える等。ホールで地域の方々と日中コーヒースロンを開催する等。
- ・学童のこどもたちも交流しに来られたら。未就学児が保育園じゃなくても身体を動かして遊べる場所
- ・移動販売の場、収益が得られるもの
- ・図書コーナー。鶴居村図書館の図書の貸し出し、絵本の読み聞かせ
- ・いつでも立ち寄れる多世代交流型施設。高齢者・ソレゾレの子。たまにグラウンドなどで運動会
- ・こども達の勉強スペースには共感。本人のペース・レベルにも合わせて指導してもらえたらと思うけど…
- ・学校の夏休み・冬休みにこども食堂

自分ができること・参加できること

- ・コンサートや芸術に関すること
- ・ボランティア・掃除・草取り
- ・大学を通して、このような施設があることを拡散すること。ボランティア等募集すること
- ・広報・人寄せ・募金
- ・イベントスタッフ・掃除
- ・ソレゾレさんの活動を初めて見た。まず一歩です。
- ・他事業での運営の課題や工夫など、お伝えできると思います。
- ・タンチョウの給餌活動なら多少手伝うことができるかも
- ・チーズ作り・酪農体験
- ・写真(幌呂地区) - 自然・酪農景観・夏のタンチョウ
- ・行政への働きかけ

お金や維持費のアイデア・提案

- ・ふるさと納税の活用
- ・大きな企業の使用が必要だと思う。企業誘致をソレゾレさんで行ってみるのはどうか
- ・全国的に珍しい取り組みですので、CFも活用してはいかがでしょうか
- ・体育館の広いスペースで運動イベントなどを開催して、地域の人が参加できる催しをしてみても
- ・村の経済的支援がどうしても必要と思います
- ・スタッフが常駐しているのであれば、収入を得るために簡単な宿泊施設(ゲストハウス等)を運営する
- ・放課後等デイサービスは道内でも行政が負担し無料化され利用者の負担軽減につながっている事例が増えているので、村に積極的要望しても良いのでは
- ・地域住民以外の一般参加の促進は無いのか。部屋使用料を取る

～まとめと今後の方針～

幌呂小学校の活用に向け、多くの住民・関係者から具体的な提案と協力の意思が寄せられました。「つくる・つかう・つづける・つながる」という理念を共有しながら、多世代・多機能な共創空間としての活用を目指していくことが可能であると感じられる意見が多くありました。

今後は、以下の点を軸に、関係者と調整・検討を進めていきます。

- ・運営体制(協働・役割分担)の具体化
- ・財政的持続可能性の検討(行政連携・外部資金活用)
- ・空間・設備の見学・共有の機会づくり
- ・継続的な意見交換と地域への情報発信